NEWS RELEASE

Prince Hotel

2026 年 11 月 26 日

～富良野の魅力を発信する拠点として、国内外のお客さまに選ばれる通年型リゾートへ～

新富良野プリンスホテル

富良野の自然と人をつなぐ新たな交流拠点が誕生

世界的建築家である坂 茂（ばん しげる）氏設計のもと、食や交流を楽しめる屋外テラスを新設、メインバンケットホールの大規模改装、温泉施設への動線を刷新し、リニューアルオープン

リニューアルオープン日：2026 年 11 月 27 日（金）

新富良野プリンスホテル（所在地:北海道富良野市中御料、総支配人:伊賀裕治）では、2026 年 5 月よりリニューアル工事を実施していた、宴会場「メインバンケットホール」の改装と屋外テラスの新設、および宿泊棟から「富良野温泉 紫彩の湯」に至る通路の新設が完了し、2026 年 11 月 27 日（金）よりリニューアルオープンいたします。本リニューアルにかかる設計は世界的建築家である坂 茂（ばん しげる）氏が担い、富良野の自然との調和をキーワードに、自然の光が差し込み、内と外が連続する、大自然を感じられる開放的で快適な空間へと生まれ変わります。

今回のリニューアルでは、宴会場「メインバンケットホール」を自然光が差し込む開放的で快適な空間に改装するとともに、既存施設の持つ魅力を生かしながら、焚火を囲んで食事や会話を楽しめる屋外テラスを新設することで、スキーやアウトドアアクティビティを楽しんだ後の時間を豊かに過ごす“アプレスキー”の拠点として、国内外から訪れるお客さまへ新たな滞在価値を提供します。
また、ホテル、温泉施設「富良野温泉 紫彩の湯」、森の中のショッピングエリア「ニングルテラス」など、周辺施設との回遊性向上を図ることで、昼夜を通じて楽しめるリゾート体験を実現するとともに、富良野の自然を五感で感じながら、人々が集い、繋がる新たな交流空間を創出し、富良野エリアにおけるナイトエコノミーの創出と通年型リゾートとしての魅力向上を目指します。


メインバンケットホール 内観


テラスを望むソファ席

リニューアル概要

① **宴会場「メインバンケットホール」を自然光が差し込む開放的で快適な空間へ改装**
～宴会場機能を強化し、MICE などの受け入れも見据えて国際都市富良野への誘客を推進～
・地下に位置するメインバンケットホールの側面に開口部を設け、自然の光が差しこむ開放的な空間を演出。
・テラスを臨むソファ席や最大 16 名で使用可能なテーブル席を設置するなど、会場のレイアウトを刷新し、これまで以上に快適にお過ごしいただける空間を提供することで MICE や婚礼、宴会など、新たな需要の取り込みを企図。

② **富良野の大自然が感じられる広々とした屋外テラスを新設**
～「アプレスキー」や「ナイトエコノミー」需要の取り込みや、地域や宿泊以外のお客さまの新しい集いの場を創出～
・テーブル席や焚火が楽しめるファイヤーピットを備え、スキーやスノーボード滑走後の時間を豊かに過ごす、「アプレスキー」や夜間の消費体験を充実させる「ナイトエコノミー」需要に対応

③ **「富良野温泉 紫彩の湯」に至る通路を新設**
～バリアフリー化を進め、シニア世代からお子さままで幅広い世代のお客さまの利便性と快適性を向上～
・客室から「富良野温泉 紫彩の湯」まで最短距離で繋ぐ通路を新設し、バリアフリー化のために階段を低減

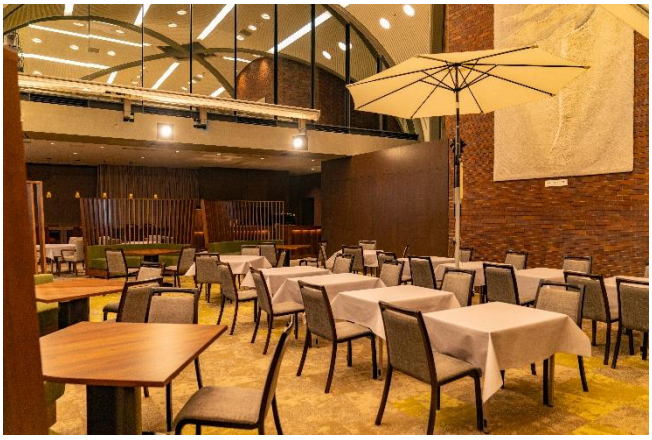
◎本件に関する報道各位からのお問合せは
新富良野プリンスホテル　セールス＆マーケティング
TEL: 0167-22-1118 （直通） FAX: 0167-22-1189

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

① 宴会場「メインバンケットホール」改装

「メインバンケットホール」は、新富良野プリンスホテルで最大の広さを有する宴会場であり、朝食や夕食時には 50 品以上が並ぶブッフェ会場としても利用されている地下階に位置する落ち着いた空間でした。

このたびの改装で新たに壁面に外光を取り込む開口部を設け、テラスを臨むソファ席や最大 16 名で使用可能なテーブル席を設置するなど、会場のレイアウトを刷新し、自然光が差し込みより明るく開放的な空間へと生まれ変わりました。また、新たにテラスエリアを活用できるようになったことで、従来の屋内宴会場としての利用に加え、屋内外を組み合わせた一体的な会場運営が可能となりました。MICE におけるプレゼンテーションやチームビルディング、レセプションイベントなど近年訪日外国人からも注目の集まる国際都市富良野として、大型国際会議の受け入れや婚礼・宴会をはじめとした、多様な利用シーンへの対応力を高め、さまざまな需要の取り込みを見据えて誘客を推進してまいります。



メインバンケットホール 内観



ダイヤモンド会員さま限定　シート



新たに導入したソファ席

② 新設テラス概要

メインバンケットホールに隣接し、富良野の雄大な自然を身近に感じられる 30×14m の開放的なテラスを新設いたします。テラスとフロントロビーを大階段でつなぎ、自由な往来を可能にすることで、ご宿泊のお客さまにとどまらず、地域のお客さまにも気軽にお立ち寄りいただける新たな交流の場を創出します。

ファイヤーピットやテーブル席を設け、期間限定でお酒やフードを提供することで、スキーやスノーボードを楽しんだ後に、焚火を囲みながら食事や会話を楽しむ“アプレスキー”の拠点として、滑走後も富良野での滞在を楽しめる新たな過ごし方を提案し、夜の富良野に新たな賑わいを生み出します。





テラス利用(イメージ)

■FURANO Après TERRACE

【期 間】2026 年 12 月 28 日(月)～2 月 28 日(日)　【時間】3:00P.M.～5:00P.M.(Lo.4:30P.M.)

【席数】テラス席／32 席　店内ホール席／80 席

【単価】¥2,000～¥3,000

【内容】≪ドリンク≫北海道ビール(タワーサーバーもあり)/ふらのワイン/スパークリングワインホットワイン/ホットジンジャー/
富良野産ぶどうジュース/ホットココアなど

≪フード≫北海道チーズ盛合せ/コールドミート盛り合わせ/ミックスナッツ/北海道珍味など

③ 「富良野温泉 紫彩の湯」までの新設通路　改装概要

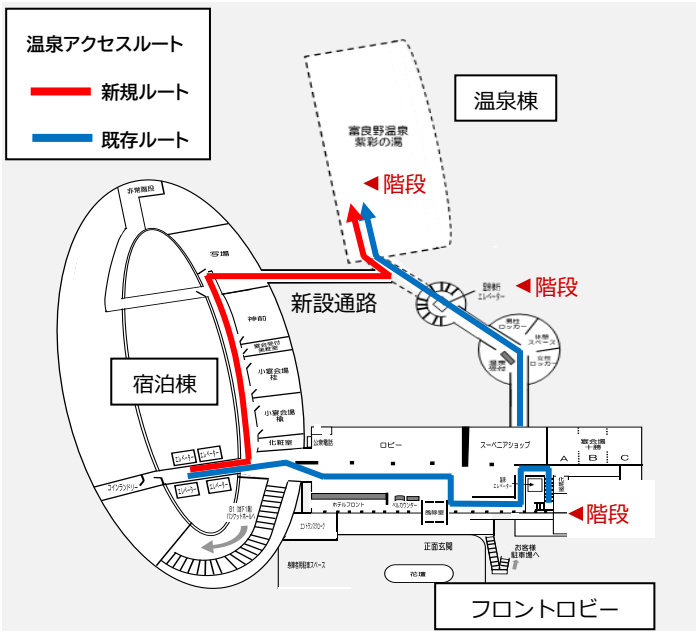
雄大な十勝岳を望む露天風呂や広々とした内風呂の温泉施設「紫彩の湯」は、ゴルフやスキーなどのアクティビティ後にゆったりとリラックスできる施設としてご好評をいただいております。一方で、宿泊棟からの距離が長く、フロントロビー・売店の通過や階段の多い導線であったことから、アクセス面でご不便をおかけする場面もございました。

こうした課題を踏まえ、シルバー層からお子さままですべてのお客さまが快適にご利用いただけるよう、温泉施設と宿泊棟を最短距離で結ぶ新たな通路を設け、階段の昇降を最小限に抑えるとともに移動距離の大幅な短縮により、バリアフリー化を実現しました。

既存ルート片　道	距　離	所要時間



富良野温泉 紫彩の湯　露天風呂



設計・デザインを手がけた世界的建築家　坂（ばん）　茂（しげる）氏からのコメント



これまで、このブッフェ会場は、バンケットホールと兼用されるため、食事をする場としては、天井が高く、広い空間でした。また地下階であるため自然光も入らず、外部空間からも断絶していました。

そこで、オーニングなどを使用し、適度な天井高に感じられるよう、また家具の配置により空間を広すぎると感じないようなデザインを施しました。

更に、外部コートヤードを作り、大きなガラス引戸で空間を内外連続させ、自然光も取り入れられるよう改装いたしました。それにより、テラスで飲食も楽しめるようになりました。

宿泊される方々が温泉棟へ向かう通路の既存部改修および増築部については、明るく開放的な既存ロビー空間とは対照的に、落ち着いた色調の内装材を用い、照度を抑えた空間とすることで、温泉棟へと向かう過程に緩やかな空間の切り替わりを演出しています。ロビーから一歩足を踏み入れると、別世界へと誘われるような、別館の温泉棟へ向かう期待感を高めます。また、通路の壁面には木の皮で包まれた照明を設置し、温泉棟への道筋をやわらかく照らしながら、利用者を自然に導く空間としました。

是非新しいレストラン、コートヤード空間、並びに温泉棟アクセス通路空間をお楽しみください。

＜坂（ばん）　茂（しげる）氏プロフィール＞

1957 年　東京都生まれ。クーパー・ユニオン建築学部（NY）で建築を学び、東京、パリ、ニューヨークに 事務所を構える。紙管を使った建築や、木材を使った革新的な構造で知られている。代表作はポンピ ドゥー・センター・メス（2010 年）、紙の大聖堂（2013 年）、大分県立美術館（2015 年）、ラ・セーヌ・ミュジ カル（2017 年）、静岡県富士山世界遺産センター（2017 年）、SIMOSE（2023 年）。1995 年に NGO「Voluntary Architects’ Network（VAN）」を設立し、世界各地での災害支援に数多く貢献したことから、プリツカー建築賞（2014 年）、マザー・テレサ社会正義賞（2017 年）、アストゥリアス皇太子賞平和部門 （2022 年）を受賞。現在、芝浦工業大学特別招聘教授。

（参考）プリンスグランドリゾート富良野について

「プリンスグランドリゾート富良野」は、西武グループが北海道・富良野エリアで展開する滞在型リゾートです。ホテルやスキー場、ゴルフ場をはじめ、「ニングルテラス」、「Soh’s BAR」、「ル・ゴロワ フラノ」などの観光施設や多彩な飲食施設を備え、四季を通じて多様な滞在体験を提供しています。豊かな自然環境を活かしながら、訪れるすべてのお客さまに快適で魅力ある時間を提供するとともに、地域と連携したリゾート運営を推進しています。2029 年秋頃 には新富良野プリンスホテルより徒歩約 7 分の場所に富良野の豊かな自然に調和したウイスキー蒸留所であり、世界からの注目度の高い軽井沢蒸留酒製造が運営する富良詩蒸留所が開業予定です。


新富良野プリンスホテル


富良野ゴルフコース


富良野スキー場


ニングルテラス

1972年 富良野スキー場開業

1974年 富良野プリンスホテル開業

1988年 新富良野プリンスホテル開業

1995年 ニングルテラス開業

2001年 富良野ゴルフコース開業

2003年 Soh’s BAR開業

2005年 珈琲 森の時計開業

2009年 風のガーデン開業

2012年 富良野・ドラマ館開業

2018年 ル・ゴロワ フラノ開業

2026年 11月27日（金）「メインバンケットホール」リニューアルオープン・テラス新設

「富良野温泉 紫彩の湯」までの新設通路　開通(本件)

2029年秋頃 富良詩（ふらりす）蒸留所開業予定

【Web サイト】新富良野プリンスホテル　公式ホームページ

URL：https://www.princehotels.co.jp/shinfurano/

※上記内容は 2026 年 11 月 26 日（木）時点のものであり、変更になる場合がございます。